



船穂中だより

校訓 「自主 自律 実践」

第17号

令和5年7月10日

「Discover Funao」 ～船穂再発見～

(期 日) 令和5年7月7日(金) 13:40～14:40頃 (対象学年) 1年生

(目 的)

- ①地域で働いている方々を見たり、話を聞いたりして、その中で自分が生活していることを学び、自分と地域とのつながりを知る。
- ②地域の人々との交流を深め、豊かな人間関係を築き上げるとともに船穂(地域)を好きになる。

(内 容)

学校と地域、そして職業についての学習という観点から、仕事の内容、勤労の喜び、地域との関わりや気をつけていることを教えてもらったり、体験させてもらったりする。

(訪問場所)

石けんづくり(環境)、EM菌(環境)、鶏尾窯(陶芸)、備前焼(陶芸)、帽子製造(生産業)、YANMAR(研究所)、浅野建設(建設)、小田川河川工事(改修工事)、倉敷レーザー(加工業)、わかば食品(食品業)、ふなおワイナリー(販売)、マスカットづくり(生産)、堆肥センター(環境)、小山石材(加工業)、船穂天文台(天体)15か所

(訪問場所にて)

訪問時は、生徒を温かく受け入れていただきありがとうございました。廃油からの石けんづくりやワインの包装の仕方など、実際に体験を通して学ぶ機会や船穂天文台では先進的な研究の成果も教えていただきました。生徒は、訪問場所について知りたかったことや疑問に思ったこと等を積極的に質問し、タブレットを用いてしっかりと回答を記録していました。15か所と多くの訪問場所で大変有意義な学習機会をいただきました。ありがとうございました。



ふなおワイナリー



船穂天文台



天体の最新事情を解説



廃油から石けんづくり